

# 榊原病院

## Monthly

Vol.59  
2022.December

この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である  
The most important person in this hospital is the patient.

独立行政法人国立病院機構 榊原病院  
National Hospital Organization SAKAKIBARA Hospital

### 【病院マスコットキャラクター「さかっさー」が誕生しました】

当院は緑に囲まれた環境で、「榊原」の地名の由来も、ある説では一帯に榊が多く自生しており、そこから名付けられたとも言われています。このキャラクターは、近くに湧き出る榊原温泉の「湯の精」が榊原の地にちなんで「榊」を持っていることをイメージして誕生しました。これまで、病棟キャラクターとして活動していましたが、今回、「病院キャラクター」に昇格しました。

皆様、「さかっさー」をよろしく願っています。  
※さかっさーの生みの親は、病棟S看護師です。



病院マスコットキャラクター  
「さかっさー」

### 診療科

- ・ 一般精神科
- ・ アルコール・薬物依存症
- ・ 専門外来
- ・ こころのリスク外来

### 病床数 175床

- ・ 精神科病棟 157床
- ・ 医療観察法 18床
- ・ 強度行動障害ユニット

## 病院理念 この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

### 「第9回 国立病院機構精神科レジデントフォーラム」 を開催しました

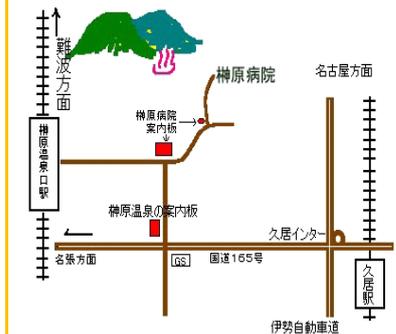
事務部長 中谷 晶光

10月29日(土)、30日(日)にかけ、当院を会場として「精神科レジデントフォーラム」を開催しました。このフォーラムは、精神科に勤務されている若手の先生方に、全国の国精協病院(国立病院機構で精神科を主とする全国14病院)での取組みを知っていただく機会として始まったものです。前は令和元年度に新潟県の「さいがた医療センター」で開催され、その後、当院が担当となり、新型コロナの感染状況を踏まえ、毎年、国精協病院に開催可否のアンケートをとり、第7波の影響が落ち着くと判断された本年5月、ようやく実施決定に至りました。

当日は、当院を含めた全国10病院より28名の先生方に参加いただき、開会式に引き続き、「若手医師の研究成果発表」を2日間に分散、その間に「各病院紹介」や三重大学 精神神経科学教授 岡田元宏先生による「最近の自殺の傾向について」と「クロザピンによる心筋炎・心筋症の留意点」、千葉大学 社会精神保健教育研修センター教授 五十嵐禎人先生による「措置診察時のポイント」と「精神鑑定の基本」を特別講演として盛り込んだプログラムを実施しました。

今回のフォーラムは、当院村田院長の「国立病院機構で勤めるメリットは、単にその病院で経験を積むことだけでなく、病院を超えた横の広がり形成できる点である。このレジデントフォーラムがオンラインでなく集合形式を重要視するのは、横の繋がりを大切にしたいためである」との強い意向もあり、「集合形式」で開催しました。感染対策を徹底するため、残念ながら榊原温泉の宿での全員交流会も実施できず、直前の会場確保も困難で、フォーラム会場は「当院研修室」となりました。逆に良かったこととして、昨年全面改修を済ませたオープンカウンターの明るい病棟や全国で34施設しかない医療観察法病棟も直接みていただく機会がもてました。

閉会のあいさつにあたり、肥前精神医療センター院長の杠先生から、「司法精神医学の人材育成の観点からも、次年度以降も運営方法を見直して開催していきたい」とのお言葉がありました。コンパクトで手作り感の強い今回のフォーラム運営でしたが、各研究成果発表や特別講演での質疑も活発に行われ、運営担当として、国立病院機構の精神科医療発展の一助を担うことができたと感じています。



電車・バス/ 近鉄久居駅下車 三交バス  
(車庫前行き)約30分

自動車/ 久居インターより約20分  
マイクロバス/ 久居駅より直通バス(約25分)



## 地域医療連携室だより

### 〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

## ゆうはあと訪問看護ステーション

令和元年6月に「ゆうはあと訪問看護ステーション」を開設しました。利用者様が地域で安心して暮らしていただけることを目標として訪問看護を提供しています。症状の観察や相談・お薬の管理・通院継続の支援・対人関係・コミュニケーションへの支援など、心身の回復のお手伝いを目的として行っています。

私たち「ゆうはあと」は、あなたの療養、そして暮らしを支えます。少しでも豊かに、少しずつ豊かになりますようにここで支えます。

## 治療抵抗性精神疾患への医療

### 〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、令和4年11月までに全症例は135例となりました。新規導入は10月1例、11月0例でした。順次投与を開始する予定です。クロザピン通院専門外来も開設しております。



## 認知症医療、こころのリスク外来

### 〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後認知機能が低下することや、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害は、若年の方にも見られます。

したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方に認知症が発症する傾向が多く見られます。身体的な問題については、法人内病院である三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。



### 〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。

## デイ・ケア案内

デイケアは、南2階を広く使い、感染対策をとりながら実施しています。また、天気の良い日は屋外で散歩や園芸も行っています。看護師が中心となり衛生に配慮した活動を行っております。活動時間は9:30～15:30です。朝はヨガや体操で体を温めてから、プログラムに参加いただけます。午後も昼食休憩の後に体操の時間があります。体力やその日の気分に合わせてご参加ください。

プログラムは、体育館でのスポーツやコグニサイズ、一人でのカラオケ、アート、手芸、園芸、音楽鑑賞、クイズ、脳トレ、こころの勉強等のプログラムを用意しています。プログラム表は外来や、病院のホームページにあります。デイケアでは、ご利用の皆さまに面談も行っています。

皆さまが、ご自分の望む方向に向かうことを、デイケアは応援します。また、皆さまからのご要望も教えていただければと思います。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。



デイケア作品掲載コーナー



散歩コースの景色です

ホームページに「デイケアでの感染予防プログラムの学びと実践の取り組みについて」を掲載しています。

デイケア案内、プログラム表については、こちらをご覧ください。



## 栄養コラム



### 高血圧対策について①

高血圧対策として1番に思い浮かぶのが減塩ですね。ドラッグストアにいくと減塩と表記されたものが多数扱われています。皆さん、実際に使用されている方も多いと思います。調味料もさることながら、実は加工品にもたくさん含まれています。例えばベーコン・生ハムやパン類、麺類、練り製品といった食材が多いです。そのまま食べて「美味しい！」と感じるのは塩が含まれていると思ったほうが良いです。できるだけ避けたいのですが、どうしても食べたいときはあるかと思います。そんなときは、野菜をたくさん食べましょう！野菜の中にカリウムというミネラルが含まれています。カリウムにはナトリウムの排泄を促進してくれる働きがあります。野菜の他にも生野菜やイモ類・キノコ類などたくさん含まれています。

ぜひ皆さんたくさん食べて血圧管理をしましょう。